

内視鏡下脊椎固定術(TLIF)の実際

Latest techniques and technologies in endoscopic spine surgery





Yuichi Takano M.D. http://www.iwai.com

従来法から内視鏡下TLIFまでの道のり

秋田赤十字病院(1996~2010年)

2000年 MED開始 従来法PLIF

2006年~ Mini-open PLIF

+PSのWiltse手技

2008年~ 内視鏡下PLIF+PPS

(稲波 2010)

2009年12月に当院に手術見学

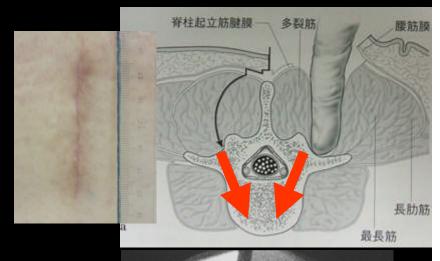
当院(2010年~)

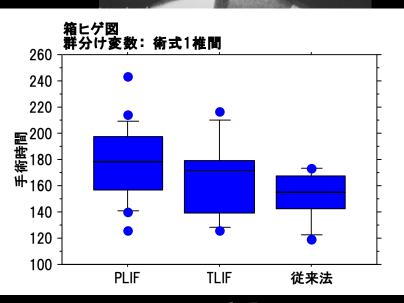
2010年 内視鏡下TLIF(Box cage2個)

+PPS

2011年 内視鏡下TLIF(C-Shape cage)

+PPS



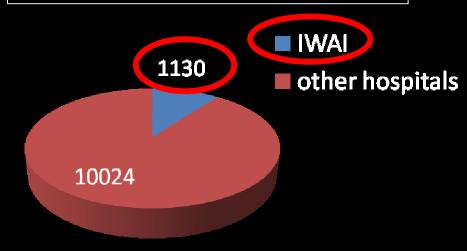


Takano PASMISS 2009 高野 JSSR 2010

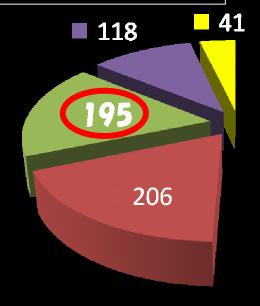
当院の脊椎内視鏡下手術

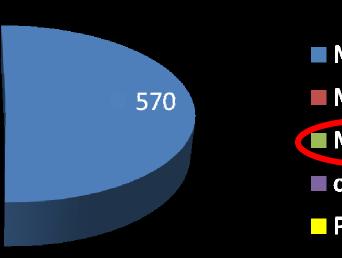
2011年 11154例 脊椎内視鏡下手術 287施設 (長谷川徹 日整会 2012)





1130例中の17.3%







(Takano Y., et al. JSSR 2013)

2013年11月22日JESMISS神戸

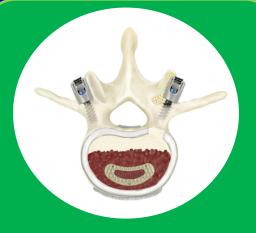
対象

- 2008年12月以降内視鏡下後方経路腰椎椎体間固定術710例
- 平均年齢65.1歳(20~83歳) 1椎間 624例 2椎間 84例 3椎間 2例
- 全例局所後側弯症を含む変性疾患

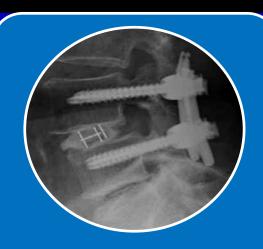
Via 18mm tubular retractor —



椎間関節全切除 神経除圧



母床作成 骨移植・ケージ設置



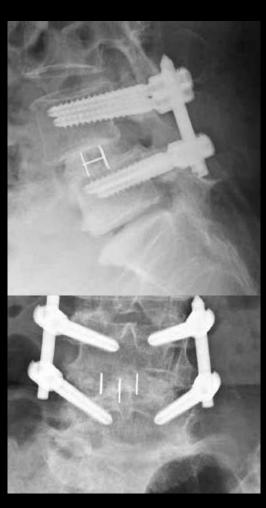
経皮的椎弓根スク リュー(PPS)

方法





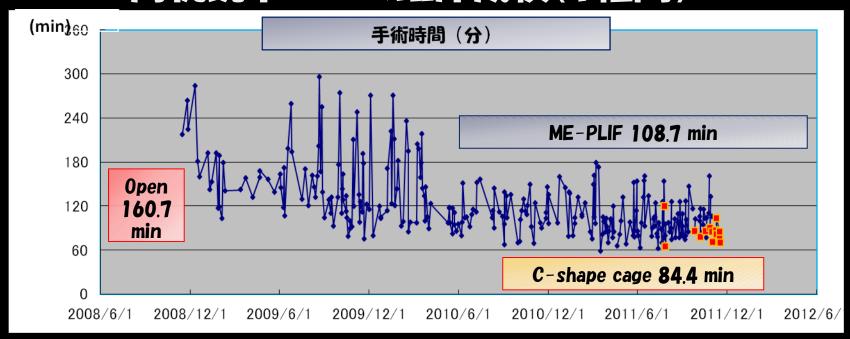


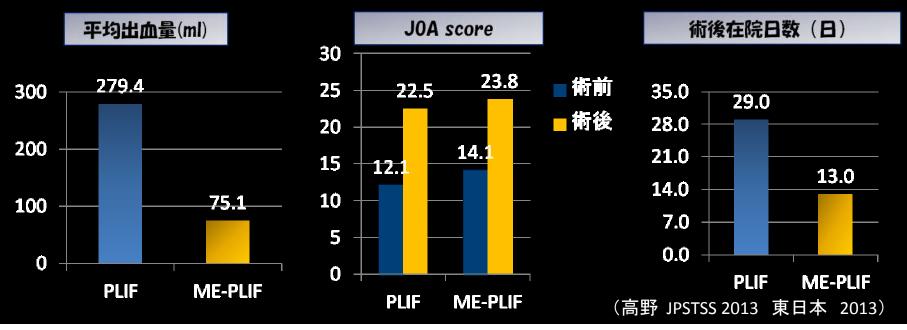


内視鏡下TLIF (高野 JSR 2012)

2013年11月22日JESMISS神戸

内視鏡下TLIFの臨床成績(1椎間)





骨移植量方法·評価

ME-TLIFの骨移植量断面積=55%

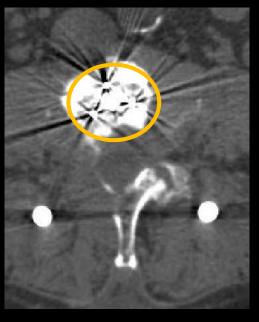
局所骨+骨髄液(+β-TCP)

(高野 JPSTSS 2012)

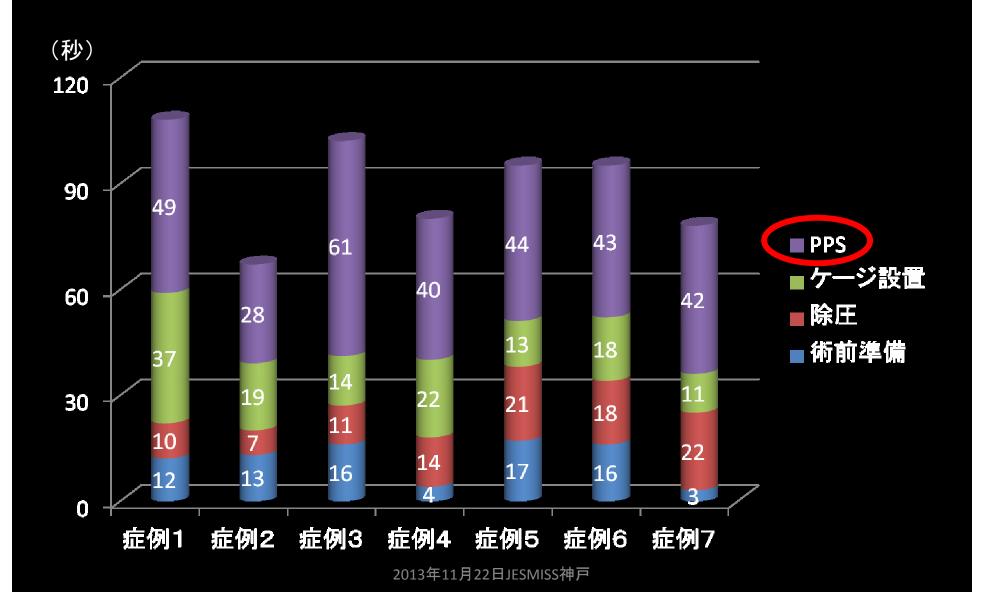
	断面積 (mm²)	割合(%)
上位椎体断面	1389	100
骨移植断面全体	<u>760</u>	<u>55</u>
C-Shape Cage (9*30)	240	17
Box cage (9*9*22)	<u>198</u>	<u>14</u>

従来法TLIFの移植骨占拠率≒**76.3%** メッシュケージ使用 *(三浦 臨整外 2007)*

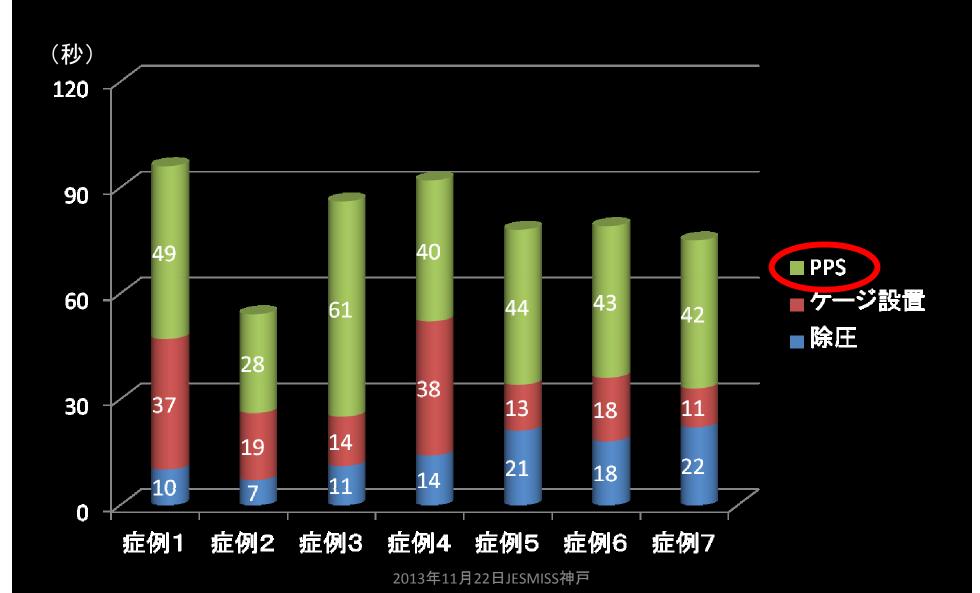




内視鏡下TLIF(1椎間)の全透視時間(最近の7例)



内視鏡下TLIF(1椎間)の術中透視時間

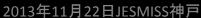


内視鏡下TLIF 症例1

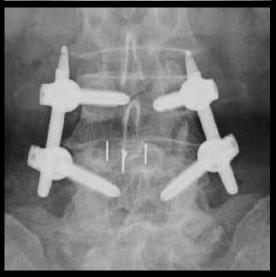
68歳 女性 右L4/5 椎間孔狭窄 L4 変性すべり症 JOA score 術前14 → 術後27/29 Excellent











ME-TLIFの合併症と処置法

 偽関節 5例 → 内視鏡下再手術 骨癒合 90%以上
骨移植面積 55%以上(高野 2012)

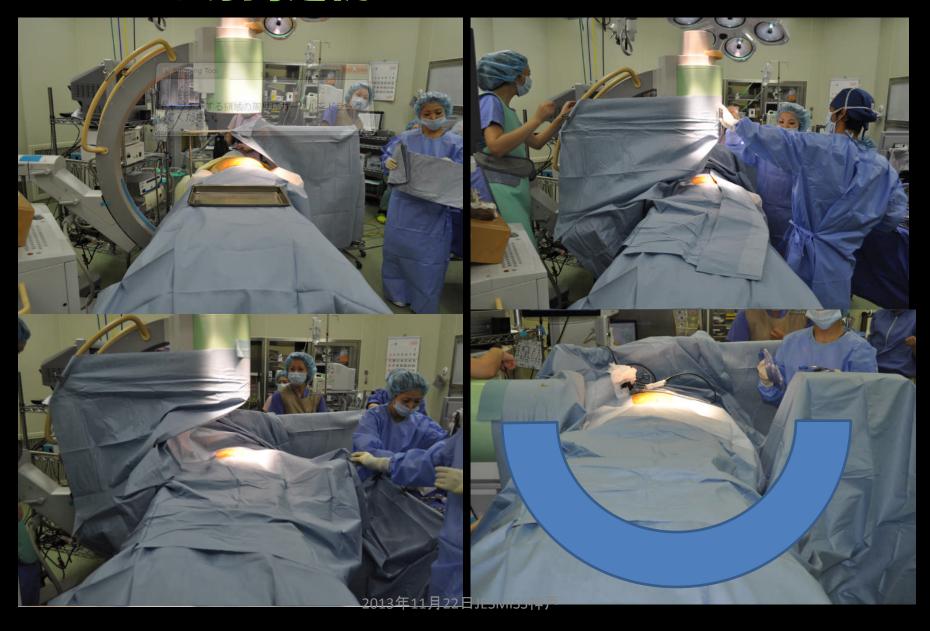
• 一過性の下肢麻痺 6例

硬膜損傷 5例 → 内視鏡下硬膜修復

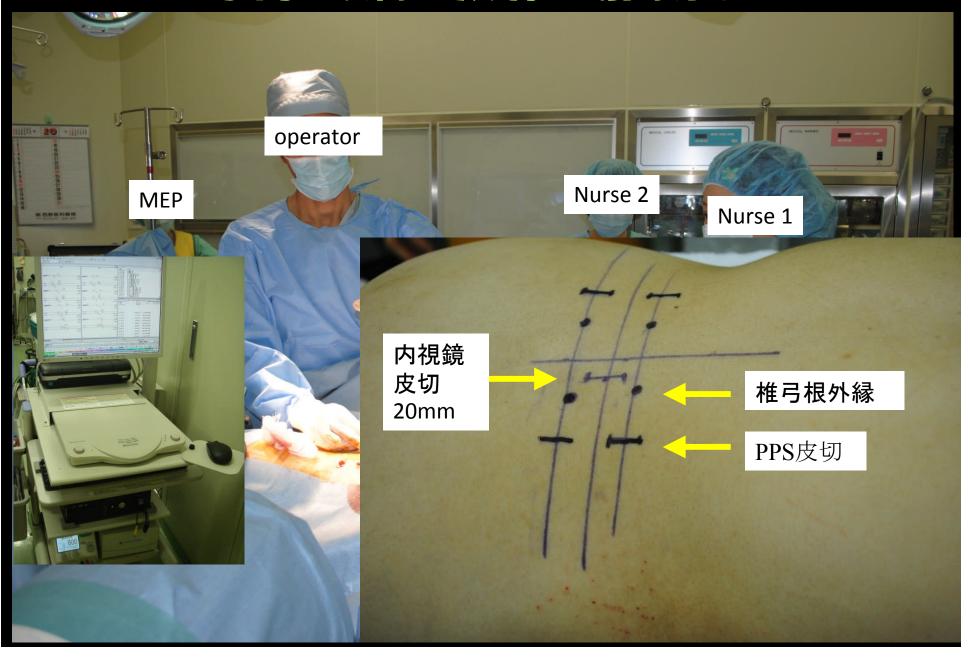
PS逸脱 1例 → 再挿入術

• 感染症 8例 → 内視鏡下ケージ除去・掻把・洗浄

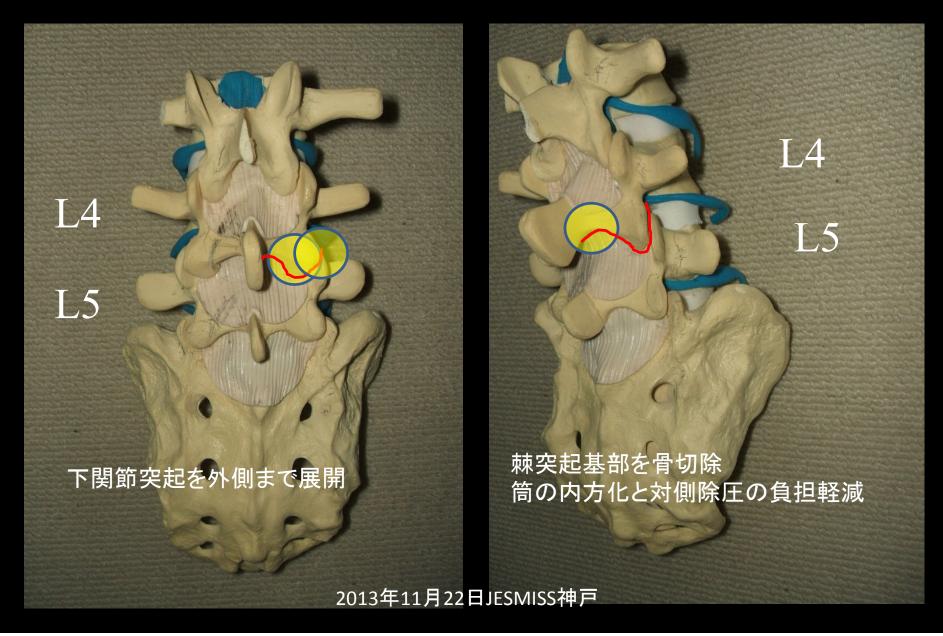
2方向透視のためのドレーピング



手術の実際と皮膚の切開方法

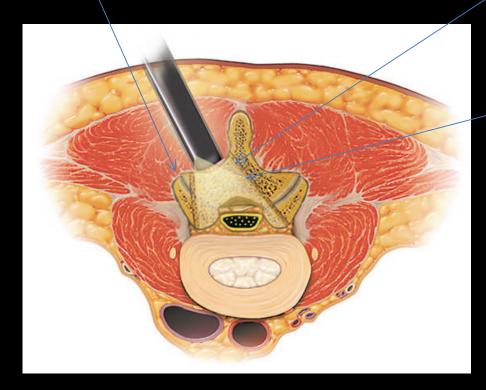


内視鏡下TLIFの片側進入両側除圧



内視鏡下TLIFの片側進入両側除圧

下関節突起を椎間 から外側まで展開 棘突起基部を骨切除 筒を内側化と移植骨採取



対側骨性除圧 黄色靭帯を浮上

2013年11月22日JESMISS神戸

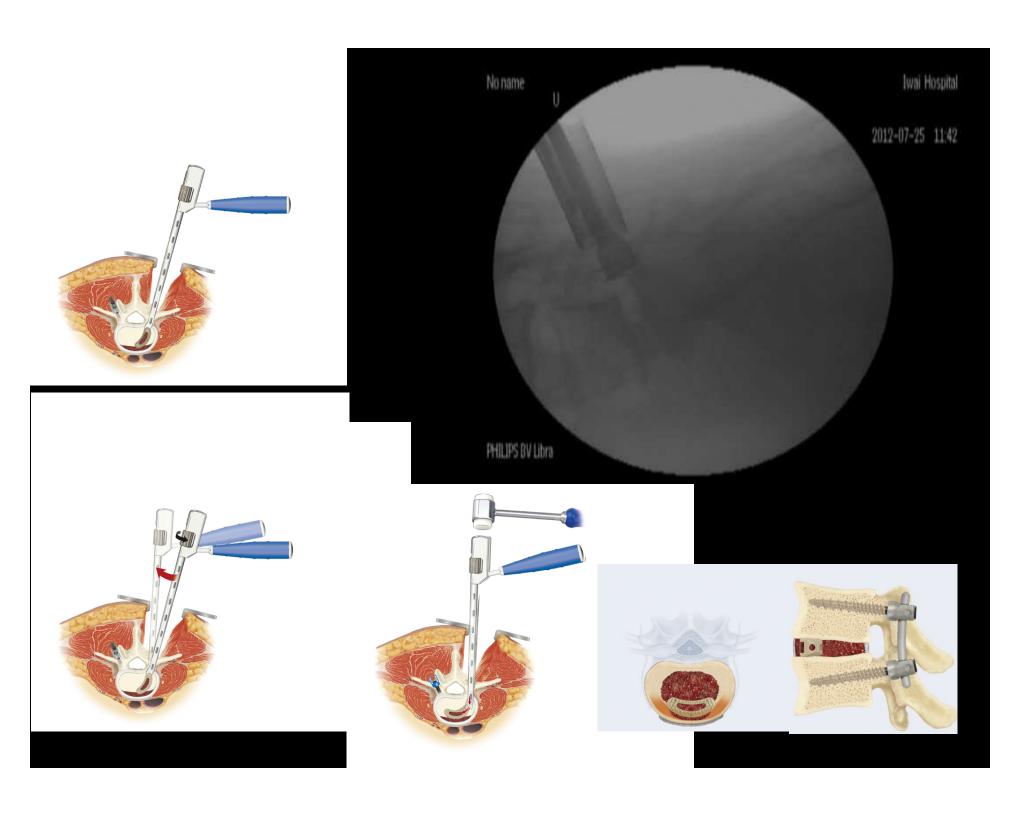
神経の除圧操作と椎体間固定

右L4/5 Milestone(11×25mm)手術時間1時間05分 出血量30ml

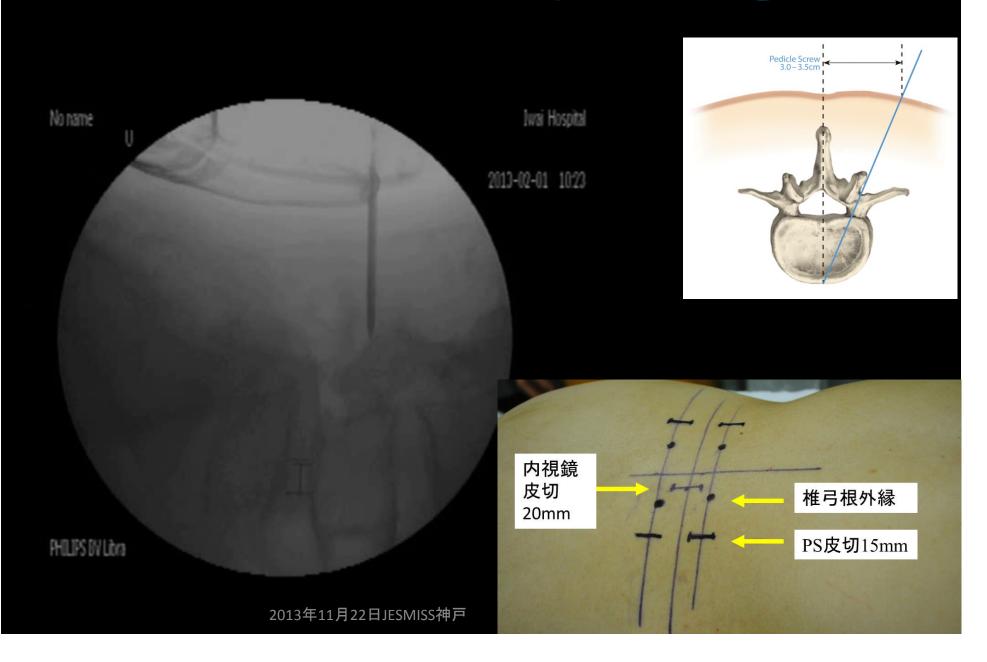


- 1. 下関節突起展開切除
- 2. 上関節突起切除
- 3. 対側骨切除
- 4. 黄色靭帯切除
- 5. 椎間板切除
- 6. 母床作成骨移植
- 7. ケージ挿入回旋設置





椎弓根スクリューの刺入点と軌道



日本で使用できるPPS



2011 2012



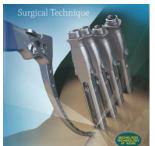












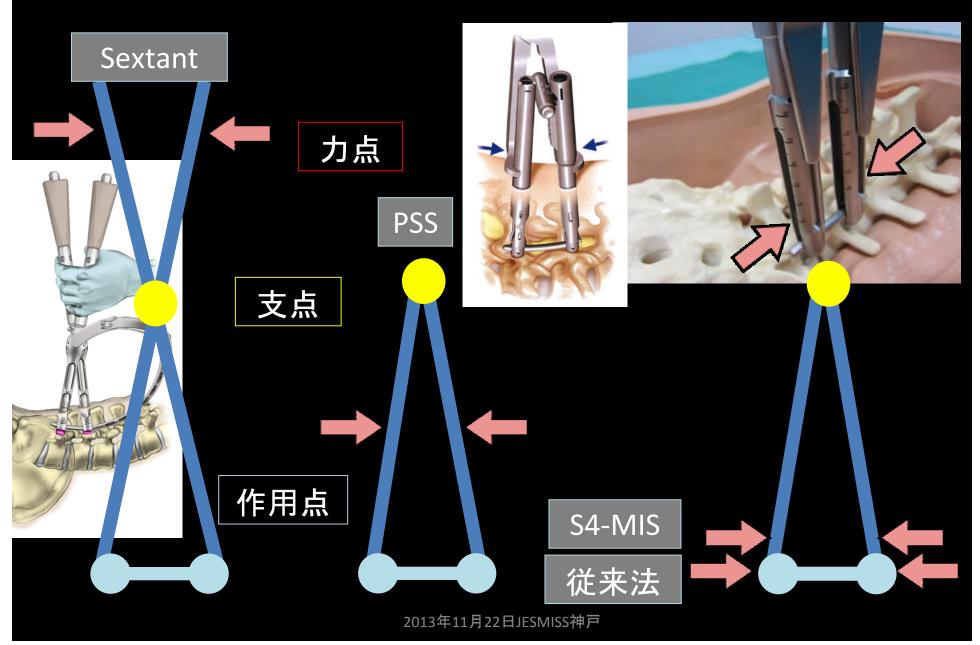




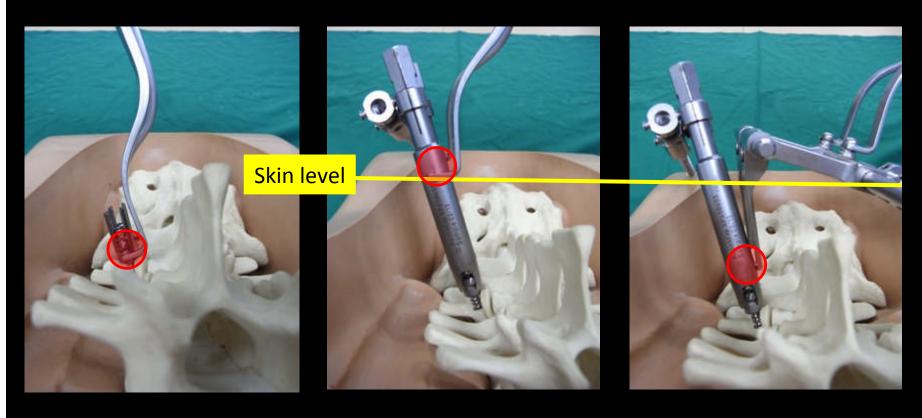


2013年11月22日JESMISS神戸

椎弓根スクリューによるCompressionの概念



椎弓根スクリューによるCompressionの概念



OPEN PPS S4 MIS

内視鏡下TLIFの短所と長所

学習曲線(learning curve)の存在 (高野 2011) wanding (joy-stick) 手技 ⇔ MELの習得 硬膜損傷 ⇔ 骨性除圧して黄色靭帯を浮上

透視時間 ケージとPPS ⇔ 今後の課題

感染率 従来法 >ME-TLIF(1%) >> MED/L(0.1%以下)臨床成績(JOAスコア) 有意差(一)多椎間固定の適応 3椎間≧

低侵襲性 内視鏡下TLIF <<< 従来法PLIF (高野 2012) 手術時間 ↓ 出血量 ↓ 術後在院日数 ↓ 感染率 ↓